

令和8年度 第1回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 令和8年7月14日（火曜日） 午後2時30分から午後4時50分まで

2 場 所 長野市民病院 市民健康ホール

3 出席者

（出席委員）

奥山 隆平 委員長
川合 博 委員
篠原 加代子 委員
田中 幹夫 委員
松本 清美 委員

（委員以外の出席者）

駒津 光久 （地方独立行政法人長野市民病院理事長）
関 仁誌 （同 理事）
山本 寛二 （同 理事）
笠井 俊夫 （同 理事）
下谷 由紀子 （同 理事）
中村 裕一 （同 理事）
中澤 通紀 （同 施設管理課長兼財務課長）
福島 孝志 （同 総務課長兼人事課長）
中村 光男 （同 医事課長）
蓮見 亮 （同 経営企画課課長）
丸田 崇紘 （同 経営企画課課長補佐）
高野 優 （同 財務課主査）

（事務局）

丸山 隆文 （長野市保健福祉部長）
相澤 優充 （長野市保健福祉部医療連携推進課長）
内山 健二 （同 医療連携推進課長補佐）
小林 雅裕 （同 医療連携推進課長専門員）

4 議 事

(1) 令和7年度の財務諸表等について（報告）

- ・ 令和7年度決算の概要 【資料 1-1】
- ・ 財務諸表等 【資料 1-2】
- ・ 事業報告書 【資料 1-3】
- ・ 監査報告書 【資料 1-4】

- (2) 令和 8 年度 年度計画について（報告）
 - ・ 地方独立行政法人長野市民病院 令和 8 年度年度計画 【資料 2-1】
 - ・ 第 4 期中期計画・令和 8 年度年度計画 対照表 【資料 2-2】
- (3) 業務実績評価の進め方について
 - ・ 業務実績評価について 【資料 3-1】
 - ・ 長野市民病院の業務の実績に関する評価実施要領（抜粋） 【資料 3-2】
 - ・ 業務実績評価実施要領 評価対象期間別比較表 【資料 3-3】
- (4) 令和 7 年度の業務実績に関する評価について
 - ・ 令和 7 年度業務実績報告書 【資料 4-1】
 - ・ 令和 7 年度業務実績自己評価一覧 【資料 4-2】
- (5) 第 3 期中期目標期間の業務実績に関する評価について
 - ・ 第 3 期中期目標期間業務実績報告書 【資料 5-1】
 - ・ 第 3 期中期目標期間業務実績自己評価一覧 【資料 5-2】

○ 開 会 午後 2 時 30 分

（事務局）

定刻となりましたので、これから始めさせていただきます。

委員の皆様にはお忙しい中、ご出席賜りましてありがとうございます。

本日は水野委員がご都合により欠席されておりますが、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第 7 条第 2 項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただいまから令和 8 年度第 1 回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

本日、会議の進行を務めさせていただきます保健福祉部医療連携推進課長補佐の内山でございます。

なお、本日の会議につきましては、午後 4 時半ごろの終了を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の会議につきましては、公開で行い、議事録調整のため録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

それでは、本年度第 1 回の評価委員会の開会にあたり、丸山保健福祉部長からご挨拶を申し上げます。

（丸山保健福祉部長）

保健福祉部の丸山でございます。本日は公私ともにお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

本年度第 1 回評価委員会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

長野市民病院は、平成 7 年の開設以来、医療を通して市民の皆様や地域社会への貢献に努めてまいりました。

平成 28 年の地方独立行政法人への移行後は、地方独立行政法人の特長を生かした病院経営を行い、地域の中核病院としての役割を果たしてまいりました。

昨年度におきましては、がん治療を支える「ラルス装置」の更新、「ラピッド・ドクターカー」の試行運用開始、「生成 AI アシスタント」の構築・活用などによりまして、より安全で質の高い医療を提供できる体制が強化されたものと考えております。

今年度からは、昨年度、皆様にご審議いただきました第4期中期計画に基づく病院経営がスタートいたしております。委員の皆様による評価を通じて、医療サービスの向上や病院の業務改善が一層推進されることを期待しております。

本年度の評価委員会では、令和7年度の業務実績評価のほか、第3期中期目標期間の業務実績評価につきまして、ご審査をいただく予定でございます。

委員の皆様には、それぞれの専門の立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。まして、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、奥山委員長からご挨拶をいただきたいと存じます。奥山委員長、よろしくお願いいたします。

(奥山委員長)

委員長を務めております奥山です。昨年に引き続き、委員の先生方、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。先生方の各々の視点から、長野市民病院の現在、そしてこれからというものをご評価いただければと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

次に本日ご審議いただく令和7年度の業務実績評価及び第3期中期目標期間の業務実績評価につきましては、評価委員会条例第2条第1項第2号及び第3号の規定により、評価委員会は市長の諮問に応じて意見を述べることとなっております。

つきましては、本件を評価委員会に諮問させていただきますので、保健福祉部長から委員長へ諮問書を伝達いたします。それでは部長、お願いします。

<諮問書交付>

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、4 会議事項に入らせていただきます。

評価委員会条例第7条第1項の規定によりまして、委員長が議長となりますので、ここからは奥山委員長に議事の進行をお願いいたします。

(奥山委員長)

それでは、次第を踏まえまして議事を進めさせていただきますと思います。

最初に、令和7年度財務諸表等につきまして、長野市民病院の方からご説明をいただきたいと思います。

(市民病院)

資料1－1～4について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。報告事項になっておりますが、令和7年度財務諸表等についてご質問ございましたら、お願いいたします。

(松本委員)

本当に多くの病院が赤字という中で、看護協会でもいろんな要望もさせていただいているところです。今年度、市民病院は黒字決算だったということをお聞きして、物価高騰などいろいろあり、なかなか病院経営が厳しい中で、黒字となった大きな要因を教えてください。

(市民病院)

先ほどの説明の中でも、入院収益の増加とか、外来収益の増加というところがありましたが、それ以外に前年度が赤字だったということもあり、人件費高騰と物価高騰に対応できるように、経営改善プロジェクトというものを、上席副院長をリーダーとして立ち上げて活動しました。

具体的には、増収部会、コスト削減部会、業務効率化部会という3つの部会それぞれに、副院長、院長補佐を責任者において活動し、増収部会での活動で約3億3,000万円の増収、コスト削減部会でも約1億円のコスト削減を達成したということと、業務効率化部会では、生成AIなどにより業務効率化を行い、時間外労働の削減などを図った結果、黒字が達成できたと考えております。

(松本委員)

ありがとうございます。3つの部会それぞれが機能を果たした結果、トータルで黒字になったということでしょうか。

(市民病院)

はい。それぞれの結果が積み重なった結果だと思っております。

(松本委員)

ご努力、本当に素晴らしいなと思って聞かせていただきました。ありがとうございました。

(川合委員)

これだけ良い決算で、大変素晴らしいんですが、老婆心といいますか、気になっているのは、今年度、運営費負担金が減額になっています。病院を運営する立場からすると、運営費負担金と

というのは、一定の国の基準のもとに交付されているものなので、これが年によって、伸びたり縮んだりっていうことになる、病院経営をしていく上で非常に困ることなので、黒字だからとか、そんな理由があったのかどうか。この辺のいきさつを説明していただければと思います。

（事務局）

ご指摘ありました運営費負担金につきましては、市民病院が昨年度 30 周年ということで、当初の建設の起債部分が終わりましたので、その分が減ったということで、救急とかそういった部門での運営費負担金が減ったということではございません。当初建設の起債分の償還が終わったということで、今回の額になっております。

（川合委員）

特別な理由があったということですね、わかりました。

（奥山委員長）

ありがとうございます。では、他にないようでしたら、最初の報告事項は終わりとさせていただきます。次の令和 8 年度年度計画に関してご報告をお願いしたいと思います。

（市民病院）

資料 2－1～2 について説明

（奥山委員長）

どうもありがとうございます。今、ご説明いただきました令和 8 年の年度計画に関して、委員の皆様、質問、ご意見等ございましたらお願いします。

（川合委員）

経常収支比率が 101.1%と、今回予想されていますけれども、今回の診療報酬の改定の影響は、どの程度あるのでしょうか。6 月から新しい診療報酬で算定していると思うのですが、1 か月の収益、昨年度と比較してどの程度影響があるのか教えてください。

（市民病院）

昨年度の 6 月と今年度の 6 月の収益の差ですが、1 億円ほどの増収という形になっています。患者数自体は、それほど多くなかったのですが、実績としては収益が増えているということなので、診療報酬改定の影響が大きいとみております。

（田中委員）

収益が伸びてきているということで非常にいいと思いますが、一方で、物価高騰や人件費高騰がかなりのペースでやってきていると思います。2025 年に経営改善プロジェクトということで、いろいろな取組をされたのですが、その取組は継続されているのか、また新たな取組をされてい

るのか教えてください。

（市民病院）

経営改善プロジェクトは、一年間の短期的なプロジェクトでしたので、一旦解散しておりますが、それで改善風土がなくなってしまうことがないように、各部会で追いかけてきた数字を引き続き管理会議に報告するというような取組を行っています。また、業務効率化部会では、主に生成 AI やデジタル関係の業務改善を行っていましたが、それについては、チームデジタルというチームに引き継いで、より強化をして取組を進めていくというふうに、今年度以降は考えているところであります。

（篠原委員）

ご説明いただいた資料 2－2 の 3 ページ右側（3）イ、「足の血流障害に対するニーズにも対応」のところについては、左側の「足の治療に関する幅広いニーズにも対応」の方がとても幅広い治療をいただけるのかなと思いますが、「血流障害に対して」という表現になっているのは、ご専門の先生方の方でいろいろ考えられて表現されたのかもしれないですけれども、理由を教えてください。

（市民病院）

当院では、数年前からフットケア外来というのをやっております、循環器の医師がその窓口になり、下肢を主に診ています。その中に血流障害の患者さんが多く含まれるわけですが、さらに整形疾患の方や形成外科的処置もするような患者さんもいまして、そういった患者さんを包括的に、整形外科、皮膚科とかと一緒にケアしていくというようなフットケアセンターというのがあったのですが、それが時間の経過とともに、ある程度初期の目的を達成されたということもありまして、昨年 3 月をもって解消されています。診療体制自体は変わってはいないのですが、心臓血管系を診る対象となるのは血流障害の患者さんが主ですので、包括的な窓口みたいなものが終了したということで、こういった血流障害に限ったような文言になっております。

（篠原委員）

わかりました、ありがとうございます。

（奥山委員長）

いくつかコメントいただきました。報告事項ということで終わりとさせていただきまして、協議事項の方にシフトさせていただきたいと思います。（3）の業務実績評価の進め方に関して事務局からご説明をお願いします。

（事務局）

資料 3－1～3 について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。委員の皆様からご質問等ありましたらお願いいたします。

基本的には去年もやったことと同じような形なので、やっていきながら思い出されるところもあるかもしれません。ご不明な点がありましたら、その時点でご質問を受けさせていただくということにさせていただき、先の方に進ませていただければと思います。

今ご説明いただきました評価方法によりまして、令和7年度の業務実績に関する評価を委員の先生方に行っていただきたいところでございます。令和7年度の業務実績に関する評価について、事務局の方からまたご説明をいただければと思います。

(事務局)

資料4－1～2について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。審議の進め方ですが、まず、長野市民病院から中項目ごとにご説明をいただきます。その後、委員の皆様から中項目のごとにご質問、ご意見をいただきまして、評価委員会として評価点を決めていくという形にしたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

それでは、資料4の1、6ページの大項目の第1、中項目1の「市民病院が担うべき医療」について、長野市民病院からご説明お願いいたします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第1、中項目1「市民病院が担うべき医療」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。小項目10個についてご説明いただきました。すべての小項目が4、計画を予定どおり実施されているということで、中項目の評価を4としていただきました。こちらに関しまして、委員の皆様からご質問、ご意見ありましたらお聞きしたいと思います。

(松本委員)

評価については、説明通りでいいのかなと聞かせていただきました。質問一つよろしいでしょうか。9ページになりますが、がん診療の部分で、相談支援体制の充実として、相談件数がかかなり伸びているということで、相談体制を整えたとか、何か理由があれば教えてください。

(市民病院)

昨年、資格を持っている看護主任を専従という形で置きまして、窓口で随時、患者の受付をし

たというところもあります。また、病棟の方もその看護主任がラウンドするような体制を取りまして、入院患者についても相談の拾い上げをしまして、その上で相談を実施したというところがあります。

（奥山委員長）

私の方から一つ伺いたいんですが、22 ページの予防医療のところ、目標に達しなかったのは、説明の中で内視鏡のドクターが足りない、そんなことだったのでしょうか。手術の件数、急性期医療の方も充実をさせて、がん診療も充実をさせて、これも充実、あれも充実させながら、限られた中で、今度は予防医療もということで、うまくバランスをとってやられているのかもしれませんが、仕事がどんどん増えて、限られた要員の中では、なかなか困難ではないのかなと思うのですが、現状はどんなものなのでしょうか。

（市民病院）

実は消化器内科医が諸般の事情で2人ほど減ってしまったということがありまして、診療の内視鏡はもちろん回さなくてはいけないんですが、やはりどうしてもしわ寄せが出てきたということで、これは回復するように大学とかとも調整してやっているところでございます。これは一時的なことで残念であったなと思うのですが、そういう事情があったということでございます。

（奥山委員長）

2人減ったのが元に戻ったとしまして、人間ドックも増えていくし、通常の消化器内科の診療もどんどん増えていくという……。これを読むと素晴らしいですが、そんなに働けるのでしょうか。

（市民病院）

後で働き方改革の話とかも出てくると思うのですが、いろいろな意味で改善するのと、ドックも周辺の機関もありますので、これを倍増するとか、もっと増やすとか、それは現実的ではなくて、いかにクオリティを担保していくかということと、いかに利用者を確保していくかというような視点だと聞いております。消化器の先生がもし揃えばもちろんある程度手伝っていただいて例年通りにいくというくらいに理解しております。

（奥山委員長）

人間ドックは保険診療と違うので値段設定はある程度病院独自につけられるのかなと、それで力を入れる施設も多いのではないかと思います。一つには、いろいろネックになるところがあると思うのですが、放射線科のドクターの数はあんまりネックにならないものですか。

（市民病院）

人間ドックに関してはネックにはならないですけども、いろいろな診療科でどこでもあると思うのですが、アップダウンがあると、それに関係する業務が少し制限を受けるという細かい意味

ではございます。人間ドックに関しては放射線科の医師の数は、直接関係はないと思います。

ただ、放射線科ドクターが非常に足りないという事情はありまして、こことは全然関係ないものですから詳細は省きますけれども、いろんな事情で、今、放射線科ドクターが不足しているという状況があるので、業務的にはいろいろな所にしわ寄せがきているというのは確かでございます。

(奥山委員長)

10 個の小項目でございますが、いずれも 4 ということで、委員会として違和感がないようであれば、中項目の評価としては 4 ということになるのですが、委員の皆様いかがでしょうか。

特にご異論なければ 4 とさせていただきますと思います。

(委員一同 了承)

はい、ありがとうございます。この部分は委員会としては 4 とさせていただきたいと思えます。

続きまして 25 ページに移っていただければと思います。中項目 2 「患者サービスの向上」に関して、市民病院からご説明をお願いします。

(市民病院)

資料 4－1～2

大項目第 1、中項目 2 「患者サービスの向上」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。4 つの小項目に関して 4 という評価をつけていただいております。これに関しまして、委員の皆様からご質問、ご意見を頂戴したいと思います。

(松本委員)

セル看護については、長野市民病院は県内でも先駆的に取り組んでいただいております、市民病院に教えていただきながら、県内の病院に広がっているという状況ですので、まずは感謝を述べさせていただきます。効果も上げられているということが分かりました。

一つ教えていただきたいのは、28 ページのプライバシーの関係で、とても満足度も高い中で、プライバシー項目が 55.7%と低値であるということで、課題を感じているということですが、このあたりは具体的にはどのような点で低くなっているのかということと、どういうふうに具体的には対策をしていこうと考えていらっしゃるのかということをお教えいただければと思います。

(市民病院)

55.7%と低値であったことについて、外来の状況を確認しますと、やはり検査説明をどうしても待ち合いであることが少なからずあると。いろんな検査の前処置とか、看護師も十分周りへの配

慮もしながら、外来の待ちスペースを選んで行っていますが、説明室の確保がなかなか状況的に難しいということもあり、実際にご意見いただいたという経緯もありました。検査前の説明とはいえ、できるだけきちんとプライバシーの確保をするということとか、あとはプライベートな話をしなくてもいいような患者さんは、説明動画を見ていただくとか、そういった説明の仕方も現在工夫を進めております。現在はそういった状況でございます。

(松本委員)

ありがとうございます。できることからやっていく中で、少しずつ改善していくということでよろしいですかね。また対応を継続していただければと思います。

(奥山委員長)

ありがとうございます。では、川合委員、お願いいたします。

(川合委員)

2つほどちょっとお聞きしたいんですけども、25ページのクリニカルパス、新規23本、改定2本作成ということですが、全体では、クリニカルパスはどのくらい、何種類くらいあるのでしょうか。適用率が50.9%ということですので、トータルのクリニカルパスの数はどのくらいでしょうか。

(市民病院)

正確な数は今ここで持ち合わせていないのですが、約200のクリニカルパスがあったかと思います。

(川合委員)

パスの内容を適宜検討・修正しながら使用していますか。

(市民病院)

そのようにしています。

(川合委員)

もう一つは、27ページのところ、AI電話の導入と書かれていますが、このAI電話は、どんな目的でどんな役割を果たしているものなのか、教えていただきたいと思います。

(市民病院)

今まで、予約の変更を電話で受け付けて、電話でそれぞれの外来の方につないで、そちらで対応していたことによりまして、外来の業務が滞るケースが多発しておりましたが、AI電話の導入により、予約変更がAI電話でできるという仕組みを展開したということになります。一旦電話で承った上で、後ほどこちらから患者さんに予約の電話をして予約の取り直しが可能なような状況に

したというところで、業務の分散化を図ったというところがメインになります。

(川合委員)

この AI 電話は、製品として売られているようなもの、一般的に使われているようなものを利用しているということですか。

(市民病院)

はい、そうです。

(奥山委員長)

いかがでしょうか。いくつかご指摘もいただいておりますが、概ね病院側からご提示がありました小項目の評価、4 つとも 4 というところには影響がないのかなというふうに思いました。もし違和感がないようでしたら、中項目の評価は 4 でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。それでは委員会の評価は 4 とさせていただきます。

続きまして、31 ページに移っていただければと思います。中項目 3 「医療に関する調査及び研究」について、市民病院の方からご説明をお願いします。

(市民病院)

資料 4－1～2

大項目第 1、中項目 3 「医療に関する調査及び研究」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。こちらの方は 5 点ということで、計画を上回り、顕著な成果があるという自己評価でございます。いかがでございましょうか。川合先生、お願いします。

(川合委員)

治験件数はこのように増えているということですが、治験の場合の金額ベースというのはどうなんでしょうか。当然、治験を請け負うにあたって、そこに金額が発生すると思いますが、その金額ベースはどの程度でしょうか。

(市民病院)

実際に症例が見込みどおり受けられたらということになりますが、増えた件数によって、2,000 万円ほど収入が上がるというふうに見込んでおります。

(奥山委員長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

私の方から一つ、医学雑誌を紙で発刊されているのですか。

(市民病院)

はい、冊子で発行しております。

(奥山委員長)

どうも、お医者さんたちの方はなんかそんな見たことないというような顔をされていまして、多分倉庫に積まれて、さようならしているようなものもあると思います。若い先生の発表の機会としても結構だとは思いますが、紙で印刷するのではなくて、Web に載せる方が安く上がったりもしますし、慣れた人であれば簡単にいくようでございます。印刷業者の人たちは仕事が減るので大変みたいですが、そういうのも一つご検討いただくのも手かなと思います。

よろしいでしょうか。川合委員のご指摘の治験に対するお答えとして、治験が最後までいったらの話ですけど、何年もかかったりもしますので、2,000 万円ぐらいの増収もあるということで、こちらの評価は5というふうなことでよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

医療に関する調査及び研究に関しては、評価5とさせていただきたいと思います。

続きまして 32 ページ、中項目 4 「医療体制提供体制の充実」、引き続き市民病院からご説明お願いいたします。

(市民病院)

資料 4－1～2

大項目第 1、中項目 4 「医療提供体制の充実」について説明

(奥山委員長)

今ご説明いただきました、4 「医療提供体制の充実」について、いかがでしょうか。

(川合委員)

37 ページ、デジタル技術の活用ということで、市民病院は積極的に取り組んでいるので、非常に素晴らしいと思います。電子カルテデータと生成 AI の連携、AI 文字起こしの活用により年間 5,472 時間の業務効率化とありますが、カルテは音声入力により文字化されるのですか。

というのは、ある作家が原稿はもう書かないと、散歩しながら音声で話して、それが自動的に文字化されるというような記事を読んでいたもので、カルテもそうやって音声入力できると、非常に業務効率化、医師は大変楽になるかなと思うのですが、この辺の具体的な業務の改善はどのようになっていますでしょうか。

(市民病院)

具体的には、例えば、音声については喋ったことを全て聞いて、議事録を取るような感じで、全て文章になります。それから、それを要約したい場合は、要約ボタンを押すと、いくつかのパターンで要約してくれます。間違いがあったり、後で少し調整が必要であったりしますが、素晴らしい機能、他にもいろいろありますが、川合委員のおっしゃる通りになっていると思います。

(川合委員)

導入の費用というのはどのくらいかかりますか。

(市民病院)

当院に AI に詳しい職員が昔からいて、セキュリティに配慮しながら生成 AI のシステムを作ったということです、基本的にはお金はかかっておりません。

(川合委員)

これは、例えば全国自治体病院学会とかマネジメント学会とか病院関係の学会がありますが、そういうところで報告はされていますか。

(市民病院)

担当の者が報告しています。ここに数字が 5,000 何時間と書いてありますが、これも職員にアンケートを取って出したもので、そういったことは発表しており、全国的に注目を集めております。AI は急速に進化していますので、今後の医療ではこういうのが多分スタンダードになっていくのかなと思っております。

(川合委員)

素晴らしい取り組みだと思しますので、ぜひ発展させてもらえたらと思います。

(篠原委員)

35 ページ、近隣病院等への診療支援ですが、実績と課題のところを見ると、信越病院、飯綱病院、新生病院や長野市国保鬼無里診療所のほか、信州医療センターなど、大変広域にご支援に行かれているようですけれども、何曜日はこの病院などと決まって派遣されていらっしゃるのでしょうか。それとも SOS というか、そういう要請があったときにご協力いただいているのでしょうか。

(市民病院)

ここに書いてあるのは、決まった日のことが書いてありますが、あとはピンポイントで要請がありますと、派遣をして、例えば手術をしてくるとか、そういうことがあります。鬼無里診療所の方は、市から依頼があり、比較的僻地のところの医療をサポートするということで、我々の病院だけではありませんが、いくつかの病院でサポートして、外来診療を行っております。これか

らの時代、その地域の中で比較的基幹的な役割をしている病院が、こういったことを担っていく時代になると思っています。

(篠原委員)

ありがとうございます。赤字経営の病院が増えているということで、一市民としては大変心配していますが、長野市民病院が近隣のところに出向いてサポートし合うという協力体制はとても大切だと思いますので、ドクターの皆さんや病院関係のスタッフの皆さんが負担にならない程度に、派遣する職員の労務管理を適切に行っていただきながら、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

(奥山委員長)

いくつかコメント、ご意見頂戴いたしました。特に小項目の評価に関して違和感を覚えるというようなコメントもなかったように思います。総合的に中項目としては4とさせていただいて、よろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

続きまして、46 ページに移っていただきます。

大項目の2番目で、中項目の1「経営管理機能の充実」について、ご説明お願いいたします。

(市民病院)

資料4-1～2

大項目第2、中項目1「医療提供体制の充実」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。ただいまご説明いただきました経営管理機能の充実ですが、いかがでございましょうか。特に違和感がなければ、評価は4ということでよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。

では、続きまして50ページに移っていただきまして、2つ目の中項目2「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」に関して、ご説明をお願いします。

(市民病院)

資料4-1～2

大項目第2、中項目2「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。ここの部分に関しまして、委員の皆様いかがでしょうか。

私の方から、これはお願いでございます。どうしてもチームとかをしっかり作ると、特に管理職の方は、それをこなさなくてはいけなくなる傾向が強くならざるを得ないと思います。なんとか委員会というのがいっぱいできて、それに出ているだけで1日が終わってしまうような人がだんだん増えてくる……。ただでさえ忙しい医者や看護師がさらに忙しくなってしまうので、働き方改革という名のもとに、それをこなすためにあまり本業と違う委員会とか無理に作るのは避けた方がいいかなと思います。そんなに長野市民病院職員の方が多いわけではないですので、そこら辺はバランス見ながらやっていただくといいかなと私は感じました。

(市民病院)

職員に無理をさせない程度の委員会にしてほしいというご助言をいただいたということでよろしいでしょうか。

(奥山委員長)

悪いと言っているのではなく、評価を上げることがあまりに重要になってしまいますと、委員会が増えてきたり、事務業務が増えてきたりしてしまうので、バランスを見ていただくといいかなというふうに私見を述べさせていただきたいと思います。

(市民病院)

ありがとうございます。

(篠原委員)

52 ページの働きやすく、やりがいのある職場環境づくりということで、これが反映されて、看護師の離職率が大変いい成績になっているのかなと思いました。実績と課題のところには院内託児所では0歳児、それから当日預かり、休日対応等、いろいろきめ細やかな対応をされているということで大変心強く思っております。子育てをしながら職業に就いている方もいらっしゃいますので、当日預かりなど心強い対応だと思っております。今後とも皆さんが働きやすい環境づくりを一層進めていただければありがたいなと思っております。

(松本委員)

同じページですけど、離職率が下がって素晴らしいということと、働き方改革の成果が出ているなと思っています。その中でメンタルヘルスケアの強化が一つ要因に書かれていますが、職員向けの相談窓口を設けてっていうところで、なかなかそれを設けても機能しなかったりする病院も多くて、看護協会の方にも相談がくるときあります。市民病院では、それが機能されているということで、窓口を設けるだけじゃなくて、何かもう一工夫されているのかどうか、教えていただけますか。

(市民病院)

当院の精神科医師の先生が看護部に2週間に1回、ラウンドしていただける体制があります。それ以外にもちょっと気になった職員のことを気軽に相談できるというような精神科医リエゾンチーム、リエゾナーズとして師長がそういった役割になっているので、早くから危険がありそうなところをしっかりとすくい上げができており、働きやすい職場風土ということに役立っていると思います。その相談を受けた結果は、この労働安全衛生委員会で精神科医師の方からこういった相談を受けましたという報告も定期的にされていまして、その内容に関しては委員会で把握しているというような体制になっております。

(松本委員)

ありがとうございます。早めに相談できることはすごく大事なかなと思います

(奥山委員長)

このところは3点、5点、4点ということですが、中項目としては4点でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。では、続きまして、53ページに移っていただいて、大項目の3、中項目1「効率的な経営の推進」について、ご説明をお願いいたします。

(市民病院)

資料4-1～2

大項目第3、中項目1「効率的な経営の推進」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。6つの項目についてご説明いただいたところでございます。いかがでしょうか。

(川合委員)

効率的な経営の推進に関しては、私の感想としては5にしてもいいのではないかなと思うくらいですね。(1)計画的な施設と設備整備を踏まえた経営の推進、かなりいいと思います。最初の説明にあった基準でいくと、5にならないということになるのかもしれませんが、非常に素晴らしいと思います。

あと、非常に細かいところですが、58ページの請求漏れ査定の救急医療管理加算1の積極算定の影響が大きいという表現になっていますが、救急医療管理加算とか算定基準が解釈によって少し変わるということがあると思うので、積極算定の影響が大きいという表現は、ちょっと検討さ

れた方がいいかなと思います。要するに、救急医療管理加算 1 の算定症例が増加したとか、そういうような表現であれば、重症な患者さんをたくさん診てるなということも言えますが、ちょっと気になる表現なので、少し検討されてみたらどうかと思います。

(市民病院)

はい、ありがとうございました。検討させていただきます。

(田中委員)

59 ページの未収金の管理と回収について、貸借対照表を見ると、破産更生債権等のところは 1,900 万円ほどあって、これが滞っている金額になると思うのですが、この金額は前年より増えていますか、減っていますかというのが一つの質問です。

もう一つが実績の課題のところに、未収金は外国人の無保険入院費等の影響で増加したとあります。その金額は破産更生債権等として把握されているのか、通常の未収の中で管理されているのか。トータルでどれくらい滞っているものが実際あるのかというところを教えてください。

(市民病院)

1 つ目の回答については整理してから、再度答えさせていただきます。

2 つ目の回答、外国人の無保険入院の件について、冬場に外国人の受診が増えますが、一旦入院しますと、高額な金額がかかるというところで、保険に入っていないケースがいくつかありまして、そういった場合は未収金扱いになるんですけれども、僅かでも入金していただくと、未収金の回収として減額していくので、今回収できない金額というふうには計上できない形なので、継続して未収金扱いでやっているという形になります。

(田中委員)

海外だと先にクレジットカードを登録させられるケースなどありますが、何か回収の工夫などはありますか。

(市民病院)

カードを持っている外国人の方であれば、上限近くまでの金額を一旦預かり金というような形で、クレジットで払っていただくという対策はしてはおります。

(奥山委員長)

川合委員からは、5 にしてもいいのではないかというご指摘がありましたが、効率的な経営の推進を 5 にすると、すごくいいと、評価委員会が判断したということになって、すごく大黒字でバラ色だということであればいいのですが・・・

(川合委員)

どこの病院も大変苦しい状況の中で、黒字にただけでも素晴らしいという状況があります。

医療はインフレの時代には非常に弱く、収入は公定価格で思うようにはいかない中で、これだけ黒字を出したっていうのは、本当に大いに評価していいかなと、そういう気持ちがあるということですね。

(奥山委員長)

川合委員、そこはお気持ちということで理解させていただきまして、自己評価が4だったものを委員会で5にするロジックが難しいというところがございますので、4でいいですかね。これは4とさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

(奥山委員長)

ありがとうございます。では、効率的な経営の推進は4とさせていただきたいと思います。

61 ページに移っていただければと思います。中項目2「経営基盤の確立」について、ご説明をお願いします。

(市民病院)

その前に、先ほどの田中委員の質問の1個目について、2年前と3年前に破産更生債権を不納欠損処理した時に、破産更生債権を二重で減らすという処理をしてしまったので、それをこの2025年度の決算の時に、過年度分を修正しました。その時に破産更生債権を減らしすぎたものを増やしたので、本当は増えていないのですが、数字上は増えているようになっております。

資料4－1～2

大項目第3、中項目2「経営基盤の確立」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。

(奥山委員長)

それでは、「経営基盤の確立」について、委員の先生方いかがでございますか。

(川合委員)

病院が置かれた社会状況、経営状況から見れば、ずば抜けていいように思いますので、5にしてもいいくらいだと思います。多くの病院が赤字という状況の中で、黒字になったということを見ると、大健闘ではあると思います。

(市民病院)

こちらの項目で4をつけている理由としましては、特定病院群の指定を目指しましたが、残念

ながらそれが達成できなかったということもあるので、満点というわけにはいかずに4をつけております。経営のところだけいきますと、5をつけたいところでもあります、そこがネックになって5をつけられないというところになっております。

（田中委員）

61 ページの説明のところ、運営費負担金が減少したことによって目標達成というよりも、医療収益が伸びたことによって目標達成したと書かれた方がいいのではないかと思います。運営費負担金の減少だと、目標達成の要因が自分たちで何かをやったことではないと思いますので。

（市民病院）

ありがとうございます。書き方を工夫したいと思います。

（奥山委員長）

頑張られているのはよくわかるんですが、評価を4ではなく、5としていいのかどうか、頑張られているのは私もよくわかります。それだけ職員の方たちご苦労されているんだらうなというふうには思いますが・・・

（川合委員）

資料5－2、中期目標の評価が経営基盤の確立は5になっていますよね。中期目標の評価、経営基盤の確立が4年間通して5になっていますので、その整合性の点でどうかと思いますが。

（市民病院）

中期目標の方で、経営基盤の確立に5をつけているのは、4年間で15億2,900万円の黒字となっていたので、こちらは5をつけさせていただいております。

（事務局）

すいません、よろしいでしょうか。今、お褒めの言葉をいただきましたので、点数の方では、4とさせてでいただきまして、記述式のところで、お褒めいただいた言葉を盛り込んで記載するというところでいかがでしょうか。

（奥山委員長）

はい、ありがとうございます。では、4とさせていただいて、よろしいでしょうか。

（委員一同 了承）

続きまして62 ページのところでよろしいでしょうか。大項目の4、中項目1、「施設整備等に関する事項」というところをお願いいたします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第4、中項目1「施設設備等に関する事項」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。施設設備等の維持管理ですが、いかがでしょうか。特にご異議がないようでしたら、5というふうにさせていただければと思います。

(委員一同 了承)

ありがとうございます。

続きまして、69ページにお移りいただければと思います。

大項目第8の中項目、「施設及び設備に関する計画」でございます。73ページをご覧くださいながら、病院からのご説明をお願いいたします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第8、中項目1「施設及び設備に関する計画」について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。法人の自己評価が5となっております。この部分に関して、委員の皆様、何かございますか。

(委員一同 了承)

よろしいでしょうか。それでは特にご異議がないようでしたら、この部分、中項目5とさせていただきます。ありがとうございます。

それでは、令和7年度の業務実績に関する評価というのが、一通り終わりました。本日の結果に関しましては、事務局の方で整理いただきまして、次回の評価委員会でご確認いただいて、意見書案をご審議いただくようにしたいと思います。

続きまして、最後の議案となります。中期目標期間の業務実績に関する評価に関してです。

事務局から、ご説明をお願いしてよろしいでしょうか。

(事務局)

資料5－1～2

中期目標期間の業務実績に関する評価について説明

(奥山委員長)

ありがとうございます。こちらの審議の進め方なのですが、長野市民病院の方から一括してご説明をいただくようにしたいと思います。中期目標期間の実績に関しましては、先ほどの令和7年度の報告と重複する部分もあるものと思われます。したがって、ご説明については重複する部分は極力省いていただいて、簡潔にお願いいたします。中項目ごとに委員の皆様からご質問ご意見をいただいた上で、委員会としての点数を決めていければというふうに思います。それでは、説明をお願いします。

(市民病院)

資料5－1～2

中期目標期間の業務実績に関する評価について説明

(奥山委員長)

ありがとうございました。

中項目ごとじゃなくて一括してということで、ほとんどが4でございますが、その中で5の自己評価の部分を中心にご説明いただいたところでございます。ご意見、ご質問等ありましたら頂戴したいと思います。いかがでございましょうか。

川合委員からのご指摘もありますように、5をいただいているところは、委員の皆様も納得されるような自己評価なのではないかと思います。病院がご提示されました5のところは5で、委員会としては了解というふうにさせていただいて、それで4と5が入り混じってまいります、平均すると4になるところ、これは4ということで、基本的にこういうふうな評価で委員会としてはよろしいでしょうか。川合委員からご指摘がありました、今のご時世、こんなに黒字になっているのは稀有である、よくやってるじゃないかというのは、事務局からご提案がありますように、コメントのところで記載させていただくという形でよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

それでは一通り審議はこれで終わりです。

本日の結果は、事務局の方でまとめていただきまして、次回の評価委員会で皆様に確認をいただいて、市の方に提出する意見書(案)についてご審議いただくようにしたいと思います。

以上で、本日の議事は全て終わりとなります。だいぶ時間をオーバーして申し訳ございませんでした。委員各位の先生方から貴重なご意見をいただいて、大変有意義だったと思います。それでは事務局の方に進行をお返ししたいと思います。

(事務局)

委員長どうもありがとうございました。

次第の「5 その他」といたしまして、事務局から今後の予定について、ご説明申し上げます。

本日はありがとうございました。事務連絡をいくつか申し上げます。

次回の第2回の評価委員会につきましては、8月6日（木）午後1時の開催を予定しておりますので、よろしくお願いします。

先ほど委員長からお話がありましたが、本日頂戴しましたご意見を事務局で整理させていただき、次回、評価委員会としての意見書（案）についてご審議をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

また、意見書（案）作成の参考とさせていただくため、本日お配りいたしました意見用紙にて委員の皆様からご意見を頂戴したいと考えております。お忙しいところ誠に恐縮ですが、7月21日までに電子メールか郵送のいずれかの方法で事務局あてご提出いただきますようお願いいたします。

以上をもちまして、令和8年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会いたします。

長時間にわたりご審議をいただきまして、ありがとうございました。

○ 閉 会 午後4時50分